

(様式2)

No. 1

公 開	可	・	否
公開時期	1	庁議後の記者会見	2()

平成25年10月31日

庁 議 付 議 事 案 書

部・室・局・(課)名
企画部 企画課

付議区分	予 定
付議事項	筑波研究学園都市50周年記念式典について
事案要旨	<p>1 趣旨 筑波研究学園都市は、昭和38年9月10日に建設が閣議了解され、平成25年で50周年を迎える。これを契機として、筑波研究学園都市の魅力面向全国に向けて発信するとともに、立地機関が連携し未来への飛躍及び新たな決意を表明する記念式典を開催する。</p> <p>2 日時 平成25年11月12日(火) 開式13:30～ 開場12:30</p> <p>3 場所 つくば国際会議場 大ホール</p> <p>4 内容 開式 主催者挨拶 来賓祝辞 来賓紹介 祝電披露 第1部 基調講演 テーマ:「筑波研究学園都市50周年の歩みとつくばへの期待」 講演者: <つくばの50年これまでとこれから> 政策研究大学院大学客員教授(つくば大使) 三井 康壽 氏 <つくばで生まれた高エネルギー物理学の成果> 大学共同利用機関法人高エネルギー加速器研究機構特別 栄誉教授(平成20年ノーベル物理学賞受賞, つくば市名 誉市民) 小林 誠 氏 第2部 協定調印式及び宣言 テーマ:「筑波研究学園都市50周年の成果と新たな決意」 (1)つくば市・グルノーブル市姉妹都市協定調印式 (2)つくば宣言 第3部 記念講演 テーマ:「つくば国際戦略総合特区」の取組 挨拶:つくばグローバル・イノベーション推進機構 中村道治機構長 講演者: 4つの先導的プロジェクトリーダー等 (1)次世代がん治療(BNCT)の開発実用化 (2)生活支援ロボットの実用化 (3)藻類バイオマスエネルギーの実用化 (4)T I A-n a n o世界的ナノテク拠点の形成</p> <p>5 主催 筑波研究学園都市50周年記念事業実行委員会 (つくば市・茨城県・筑波大学・筑波研究学園都市交流協議会ほか関係11機関)</p>

(様式2)

No. 2

公開	可	・	否
公開時期	①庁議後の記者会見 2()		

平成25年10月31日

庁議付議事案書

部・室・局・(課)名
市民部 国際・文化課

付議区分	予定
付議事項	グルノーブル市との姉妹都市締結調印式について
事案要旨	<p>グルノーブル市との姉妹都市締結調印式については、11月12日に開催される「筑波研究学園都市50周年記念式典」の中でフランス側関係者を招待し、執り行う予定である。</p> <p>1 日時：平成25年11月12日（火）15時20分</p> <p>2 場所：つくば国際会議場 大ホール</p> <p>3 出席予定者：つくば市長・グルノーブル市長・駐日フランス大使 ほか現在調整中</p> <p>《経緯》</p> <p>昨年7月グルノーブル市で開催されたハイレベルフォーラムへの参加の際、両市長の会談が実現し、姉妹都市締結に向けて調整することで合意した。それを受け、本年3月デトロワヤ副市長がつくば市を訪問し、今年度中の姉妹都市締結に向けて準備を進めることを確認した。</p> <p>その後、準備が整い11月12日の「筑波研究学園都市50周年記念式典」の中で調印式を執り行うことが確定した。</p>

公開	可 ・ 否
公開時期	①庁議後の記者会見 2()

平成25年10月31日

庁議付議事案書

部・室・局・(課)名

市民部 男女共同参画室

付議区分	予定
付議事項	筑波研究学園都市50周年記念事業 平成25年度つくば男女共同参画会議「つくば男・女(みんな)のつどい2013」 の開催について
事案要旨	<p>本市における男女共同参画社会づくりに向けた意識啓発と参加者相互の情報交流を目的として開催する。今年度は「仕事とくらしの幸せバランス@つくば」をテーマとする。</p> <p>1 日時 平成25年12月7日(土) 10:00~12:00(開場9:30)</p> <p>2 場所 つくばカピオ</p> <p>3 定員 先着350名(要事前申込)</p> <p>4 内容</p> <p>(1)オープニング「フェニックスグリーンクラブ」による男性合唱</p> <p>(2)第8回つくば市男女共同参画推進標語「愛ことば」展示・表彰式 愛ことばには、3部門629作品(一般の部364作品, 学生の部185作品, 親子の部80作品)の応募があった。当日は、優秀作品の展示及び上位3作品の表彰を行う。その他、今回は男女共同参画都市宣言10周年特別賞を設ける。</p> <p>(3)講演「私スタイルで見つけるワーク・ライフ・バランス」 講師: 勝間和代氏(経済評論家・中央大学ビジネススクール客員教授)</p> <p>(4)男女共同参画推進団体によるパネル展示・活動状況紹介を実施。今回は、男女共同参画都市宣言10周年記念パネルを展示する。</p>

公開	可	否
公開時期	①庁議後の記者会見 2()	

平成25年10月31日

庁議付議事案書

部・室・局・(課)名
市民部 国際・文化課

付議区分	予定
付議事項	平成25年度つくば市民文化祭の開催について
事案要旨	<p>市民の文化芸術活動の成果を発表し、それを市民にご鑑賞いただく機会を全市的な規模で提供することを目的として、つくば市民文化祭を開催する。</p> <p>本年度は、市民ホールやたべ、市民ホールとよさとが震災から復旧したこともあり、震災前と同様の7会場を主として実施する。</p> <ol style="list-style-type: none"> 開催期間 平成25年11月2日(土)・3日(日) 10時～16時 開催方法 希望する会場に申込み、作品展示や芸能発表等を行う。 開催会場 <ul style="list-style-type: none"> 筑波会場：筑波交流センター，市民ホールつくばね 大穂会場：大穂交流センター，吉沼交流センター，大穂体育館 豊里会場：豊里交流センター，豊里体育館，市民ホールとよさと 谷田部会場：谷田部総合体育館，市民ホールやたべ 桜会場：桜総合体育館 荃崎会場：荃崎交流センター，市民ホールくきざき 中央会場：つくばカピオ，ノバホール，吾妻交流センター，さくら民家園，大清水公園 催事内容 <ul style="list-style-type: none"> ・作品展示…絵画，書道，写真，文芸，生け花，盆栽，工作等 ・芸能発表…郷土芸能，民謡，舞踊，ダンス，声楽，器楽，歌謡等 ・その他…茶会，囲碁，将棋，啓発活動，試食，小・中学校芸術展 第36回ノバホール音楽会 主催 つくば市，つくば市教育委員会，つくば市民文化祭実行委員会 協力 つくば市文化協会 参加予定者数 340団体 4,583人 (H24年度実績：307団体 5,136人) 予定来場者数 延べ25,000人 (H24年度実績：延べ24,713人) その他 <ul style="list-style-type: none"> ・研究学園都市50周年記念として，小・中学校芸術展の絵画・書道作品から優秀作品を選出し，市長賞(各学年2点)・教育長賞(各学年3点)を选考 ・案内チラシを市内全戸ポスティングで配布するほか，市内公共施設・学校等にポスター掲示

(様式2)

No. 5

公 開	Ⓜ ・ 否
公開時期	① 庁議後の記者会見 2()

平成 25年 10月 31日

庁 議 付 議 事 案 書

部・室・局・(課)名
市民部 国際・文化課

付議区分	予 定
付議事項	つくば日中友好協会へのリサイクル用自転車贈呈式について
事案要旨	<p>つくば日中友好協会にリサイクル用自転車を寄贈するに当たり、贈呈式を開催する。</p> <p>1 目 的 つくば日中友好協会に寄贈することで、日中の友好関係及び国際的 社会貢献に寄与するものである。</p> <p>2 日 時 平成25年11月22日(金) 14:00~15:00</p> <p>3 場 所 市長応接室</p> <p>4 内 容 リサイクル用自転車10台をつくば日中友好協会に寄贈する。</p> <p>5 出席者 市原健一市長, 金子和雄つくば日中友好協会副会長, 筑波大学中国人留学生学友会会長, 中国大使館職員 ほか</p> <p>《経緯》</p> <p>つくば日中友好協会では、筑波大学中国人留学生学友会より要望を受け、自 転車の貸与事業を計画。つくば市にこの事業の依頼があり、都市施設課と協力 し、リサイクル用自転車10台を寄贈するものである。</p> <p>筑波大学外国人留学生在籍数 1,744名(平成25年5月1日現在) 筑波大学中国人留学生在籍数 893名(平成25年5月1日現在)</p> <p>※これまでのつくば市からリサイクル用自転車寄贈実績(計134台)</p> <p>平成21年8月 つくば日中友好協会へ 40台 平成21年11月 つくば日中友好協会へ 30台 平成25年6月 マラウイ共和国へ 64台</p>

公開	可	否
公開時期	1庁議後の記者会見 2()	

平成25年10月31日

庁議付議事案書

部・室・局・(課)名
市民部 スポーツ振興課

付議区分	予 定
付議事項	第33回つくばマラソンの開催について
事案要旨	<p>1 日 時 平成25年11月24日(日) 午前8時15分から</p> <p>2 主 会 場 筑波大学陸上競技場</p> <p>3 種 目 ①42.195km ②10kmの2種目(日本陸連公認)</p> <p>4 主 催 つくば市, 筑波大学, 茨城陸上競技協会, 読売新聞社</p> <p>5 医 療 筑波大学スポーツアソシエーション, 筑波メディカルセンター病院 他</p> <p>6 特別協賛 リスカ(株)</p> <p>7 エントリー数 42.195km 13,339人 10km 3,083人 計 16,422人</p> <p>8 つくばマラソン祭り2013 日時:平成25年11月23日(土) 午後1時00分から午後6時00分 場所:イーアスつくば 内容:つくばオールスターチアパフォーマンス, ランニングカンファレンス, ゲストランナートークショー(東京ガールズラン2名), 前夜祭(市長あいさつ, ランナーズスペシャル抽選会 等)</p> <p>9 その他 (1)大会当日の開会式 実行委員長による開会宣言, 市長挨拶, 主催者及び協賛社紹介 協賛社代表挨拶, 筑波大学チアリーダー及びブラスバンドによる演出等 (2)協賛金の確保 リスカ(株), (株)筑波銀行, (株)ブルーボックス等 約710万円増 (3)ランナーサービスの向上 ゴール後の提供品(スポーツドリンク, お菓子) 走路計測ポイントの増, ランフォトの提供 (4)マスメディア関係 ユーストリーム(動画配信)先導車両にカメラを設置し中継を検討中 NHK水戸放送局 当日の昼及び夕方のニュースで放送予定 NHKBS『ラン×スマ』つくばマラソン特集 12月14日(土), 21日(土)30分枠放送予定 (5)ゲストランナー 石原 良純(俳優・気象予報士), 川上 優子(元世界陸上代表者) 嶋原 清子・木下 裕美子・阿波寄 熙子(セカンドウィントAC所属) 井澤 エイミー・大木 美佳(東京ガールズラン)</p>

(様式2)

No. 7

公開	可 ・ 否
公開時期	〔市議〕後の記者会見 2()

平成25年10月31日

庁議付議事案書

部・室・局・(課)名
環境生活部 環境都市推進課 国際戦略総合特区推進部 科学技術振興課 教育委員会 教育指導課

付議区分	予定
付議事項	筑波研究学園都市50周年記念事業 「つくばサイエンスコラボ2013～科学と環境のフェスティバル～」 の開催について
事案要旨	<p>1 事業概要 同時開催する次の3つのイベントを「つくばサイエンスコラボ2013～科学と環境のフェスティバル」として開催する。</p> <p>(1) 「つくば科学フェスティバル」 (教育指導課) 科学の楽しさや驚きなどを身近に感じてもらえるような体験型のイベント ※ 新たにつくば科学出前レクチャー事業の活用による研究機関と学校との連携企画も実施</p> <p>(2) 「つくば環境フェスティバル」 (環境都市推進課) 身近な環境問題や地球温暖化防止について、市民団体、企業、大学・研究機関、市が日頃の取組を紹介する。</p> <p>(3) 「つくば3Eフォーラム」 (筑波大学他) 環境負荷の少ない低炭素社会の構築を目指すつくば環境スタイルを紹介</p> <p>2 開催日時：平成25年11月9日(土)～10日(日) 10:00～16:00 (10日は15:30で閉会) 9日(土)は、9:30からオープニングセレモニーを開催</p> <p>3 会場：つくばカピオ、大清水公園(多目的広場)</p> <p>4 予定来場者数：30,000人(2日間延べ人数)</p>

公 開	可 ・ 否
公開時期	1 庁議後の記者会見 2 ()

平成25年10月31日

庁 議 付 議 事 案 書

部・室・局・(課)名
環境生活部 環境都市推進課 国際戦略総合特区推進部 スマートシティ推進課

付議区分	予 定
付議事項	つくば環境スタイル“SMILe”～みんなの知恵とテクノロジーで笑顔になる街～(つくば市環境モデル都市行動計画)(案)のパブリックコメントの実施について
事案要旨	<p>1 趣旨 本年3月に国から選定された環境モデル都市のアクションプラン「つくば環境スタイル“SMILe”～みんなの知恵とテクノロジーで笑顔になる街～(つくば市環境モデル都市行動計画)(案)」を策定する。この計画は今年度で終了する「つくば環境スタイル行動計画」の改定計画であり、「地球温暖化対策の推進に関する法律」第20条の3の規定に基づく計画としても位置付ける。 今回、計画策定に当たり、市民の意見を反映させるためパブリックコメントを実施する。</p> <p>2 意見募集期間 平成25年11月2日(土)～平成25年11月28日(木)</p> <p>3 経緯 平成25年7月～10月 国際戦略総合特区及び環境モデル都市推進本部会議(2回)、環境モデル都市プロジェクト会議(5回) つくば市環境都市推進委員会(3回)、同作業班会議(3回)</p> <p>4 今後の予定 平成25年12月 国(内閣官房)へ提出、関係省庁への意見照会 平成26年1月 パブリックコメント意見に対する市の考え方を公表 平成26年3月 アクションプランとして了承 平成26年4月 庁議審議、計画決定、公表</p>

(様式2)

No. 9

公開	可 ・ 否
公開時期	庁議後の記者会見 2()

平成25年10月31日

庁議付議事案書

部・室・局・(課)名
環境生活部 環境都市推進課

付議区分	予定
付議事項	インターネット環境家計簿の運用開始及び利用者の募集について
事案要旨	<p>「つくば環境スタイル行動計画」推進の一環として、(独)産業技術総合研究所と連携して進めてきた「インターネット環境家計簿」の運用開始に伴う利用者の募集を行う。</p> <p>1 インターネット環境家計簿とは 家庭での電気、ガス及び水道の使用量から二酸化炭素排出量を数値化することによって「見える化」し、一般家庭での地球温暖化防止のための取組意欲を高めることを目的に(独)産業技術総合研究所 河尻主任研究員が開発したシステムである。 本家計簿ソフトの特徴は、光熱費以外にもすべての家計支出について対応しており、通常の家計簿として利用可能である。また、事前に定期的な支出項目を登録することができるなど利便性も高い。</p> <p>2 運用開始日 平成25年11月1日</p> <p>3 利用方法 下記アドレスにアクセスし、必要事項を入力する。 http://www.riss-alca.net/sarchive/</p> <p>4 利用者募集について 利用者獲得のためHP、つくば市報、フェイスブック等で広報する。また、環境スタイルサポーターズ会員には、積極的に利用されるよう周知して行く。</p>

(様式2)

No. 10

公開	可	・	否
公開時期	1	府議後の記者会見	2()

平成25年10月31日

庁議付議事案書

部・室・局・(課)名
環境生活部 危機管理課

付議区分	予定
付議事項	二の宮小学校通学路安全対策の社会実験について
事案要旨	<p>1 実施目的 幹線道路から流入する通過交通量や速度を抑制する施設を設置し、生活道路における交通の安全性を確保するため。</p> <p>2 実施場所 小野川, 上原, 松野木地内の通学路 (別紙1参照, 「黄色路線」)</p> <p>3 実施期間 平成25年10月28日から12月20日 (別紙2参照, 「2. 社会実験の期間」) (実験終了後, つくば市が地域に適した効果のある恒久的施設を設置)</p> <p>4 実施内容 通学路をA, B, Cの3区間とし, さらに各区間を各々3期にわけて速度抑制施設を設置し効果を検証する。 ・3区間の場所について (別紙1参照) ・3期の日程について (別紙2参照, 「2. 社会実験の期間」) ・用語の解説について (別紙3参照)</p> <p>5 実施形態 国土技術政策総合研究所, つくば中央警察署, つくば市が連携して社会実験を行う。</p>

(様式2)

No. 11

公開	<input checked="" type="radio"/> 可	・	<input type="radio"/> 否
公開時期	① 府議後 2()		

平成25年10月31日

庁議付議事案書

部・室・局・(課)名
経済部 観光物産課

付議区分	予定
付議事項	「第1回くきざき夢まつり」の開催について
事案要旨	<p>1 概要 昨年度まで「ひまわりまつり」として開催していたイベントを改編し、実行委員会公募により「くきざき夢まつり」として、新たに開催する。 荃崎地区の各関係団体が一つとなり、幅広い年齢層が楽しめる、より地域に密着したイベントとして実施する。</p> <p>2 開催日時 平成25年11月9日(土) 9:00~16:00 ※荒天の場合は、10日(日)に順延</p> <p>3 開催場所 荃崎運動公園中央広場 ふれあいプラザ</p> <p>4 主な内容 ・ステージ：マーチングバンド、バトン、フラダンス、バンド演奏等 ・体験広場：ダンボール迷路、フワフワトランポリン、ゆるきゃら出展、金魚すくい、かえっこバザール、竹馬、連凧 ・消防コーナー：住宅火災警報器のPR、煙体験、消防士になってみよう、消火・救急救命体験、消防音楽隊の演奏等 ・その他：セグウェイ・マイクロモビリティの試乗、カブトムシロボット「ヘラクレス」乗車、ミニトレインの運行、商工会・各種団体によるバザー等の出展、農産物の販売、花の鉢・バルーンアートプレゼント等</p> <p>5 主催：くきざき夢まつり実行委員会、つくば市 共催：つくば市商工会 協力：荃崎地区区会連合会、つくば市文化協会、つくば市消防本部、つくば市消防団荃崎支団、つくば中央地区交通安全協会荃崎支部、つくば市食生活改善推進員協議会荃崎支部、つくば市荃崎地区シルバークラブ連合会、荃崎地区小・中学校PTA</p> <p>6 予定来場者数：10,000人</p>

公開	可	・	否
公開時期	1	庁議後の記者会見	2()

平成25年10月31日

庁議付議事案書

部・室・局・(課)名
消防本部 地域消防課

付議区分	予定
付議事項	つくば市消防団女性消防団員による幼児向け防火教室の開催について
事案要旨	<p>1 実施の目的</p> <p>今までの幼児向け防火教室といえば、火遊びをしないなどの予防のための教室であった。今回女性団員が行う防火教室は、もし子供たちが火災に遭遇した場合、自分でどう対処すれば被害を最小限に抑えることができるか、自分の身を守るにはどういう行動をすればいいのか、ということを学んでもらい、ひとりでも多くの幼児を火災から救うことを目的とする。</p> <p>2 実施者</p> <p>つくば市消防団女性消防団員 (女性団員数39名)</p> <p>3 実施日・実施場所</p> <p>11月14日 (木) 午前10時～11時 松代幼稚園(園児106名)</p> <p>11月20日 (水) 午前10時30分～11時30分 竹園東幼稚園(園児31名)</p> <p>12月18日 (水) 午前10時～11時 岩崎幼稚園(園児49名)</p> <p>4 実施内容</p> <p>幼児向け防火教室 (寸劇仕立て)</p> <p>劇名「火災から身を守るには・・・」</p> <p>5 今後の実施予定</p> <p>平成26年1月より継続して月2回程度幼稚園・保育所を対象に実施予定</p>

公開	可	・	否
公開時期	①庁議後の記者会見 2()		

平成25年10月31日

庁議付議事案書

部・室・局・(課)名
市長公室 広報課

付議区分	報告
付議事項	つくば市シティプロモーション推進の方針について
事案要旨	<p>つくば市シティプロモーション推進本部ワーキングチーム会議・幹事会議・本部会議を経てつくば市シティプロモーション推進の方針を決定した。</p> <p>1 シティプロモーション推進の方針</p> <p>(1) シティプロモーションの推進戦略を「つくば市のブランド化」とし、スローガンを「つくば、ホンモノ！」とする。背景には、「つくばには、つくばならではの特徴づけられるものを含め、ホンモノが数多くある」という事実が存在している。「つくば、ホンモノ！」はつくば市全体の意気込みを表したものである。</p> <p>(2) 推進の目的</p> <p>①つくば市へのイメージ向上を誘客・企業誘致・定住化促進につなげ持続可能な都市を実現する。</p> <p>②市民・在勤者のつくば市への親近感と愛着心を醸成する。</p> <p>(3) アクションプランの内容 (別添資料7ページ参照)</p> <p>①市役所内でのブラッシュアッププロモーション</p> <p>②対外的なアクティブプロモーション</p> <p>③新企画実施のクリエイティブプロモーション</p> <p>(4) 推進にあたっては、つくば市が主体となり、市民・事業者・大学・研究機関等を含む“オールつくば”で行う。</p> <p>2 今後のスケジュール(別添資料8ページ参照)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・11月～ロゴマーク募集開始, 職員の意識啓発のためのセミナー実施 ・平成26年4月～アクティブプロモーションスタート

公開	可 ・ 否
公開時期	①庁議後の記者会見 2()

平成25年10月31日

庁議付議事案書

部・室・局・(課)名
国際戦略総合特区推進部 科学技術振興課 市民部 国際・文化課

付議区分	報告
付議事項	アメリカへ出張報告について
事案要旨	<p>1 趣旨</p> <p>米国パサデナ市で行われた科学技術都市の国際会議(第2回ハイレベル・フォーラム)への招待を受けたため、市原市長を団長とし、産業技術総合研究所(一村副理事長)、物質・材料研究機構(潮田理事長)、筑波大学(三明副学長)の4組織からなる代表団で参加した。</p> <p>また、つくば市の姉妹都市であるアーバイン市及びカリフォルニア大学アーバイン校を表敬訪問し、都市間の交流を深めた。</p> <p>2 概要</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日程:平成25年10月12日(土)~18日(金) <p>3 成果・その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第2回ハイレベルフォーラム(10月13~15日) <p>市原市長がつくば市の取組についてプレゼンテーションを行うとともに、パネリストとして会議に参加した。2日間の積極的な議論を通じて、イノベーションを育む環境づくりに取り組む都市間で有意義な情報交換を行った。</p> ・アーバイン市長への表敬訪問(10月15日) <p>スティーブン・チョイ市長就任後の初会談であり、教育、経済活動等における協力を確認するとともに、来年度、姉妹都市25周年の記念行事を行うこと等で合意した。</p> ・カリフォルニア大学アーバイン校副学長等への表敬訪問(10月16日) <p>姉妹都市アーバイン市の中核であり、筑波大学などつくば市の研究機関等とも交流の深い同校において、先進的な取組の視察や、さらなる連携構築に向けた意見交換を行った。</p>

公開	可 ・ 否
公開時期	①庁議後の記者会見 2()

平成25年10月31日

庁議付議事案書

部・室・局・(課)名

国際戦略総合特区推進部

科学技術振興課

付議区分	報告
付議事項	日本ジオパーク全国大会の報告について
事案要旨	<p>1 趣旨</p> <p>日本ジオパーク全国大会は、毎年1回、日本ジオパークに認定されている地域で開催される大会で、4回目となる今年は隠岐世界ジオパーク（島根県）で開催された。主な内容としては「JGN事前相談会」、「首長セッション」、「JGN新規認定地域認定証交付式」、「分科会」などがあり、特に、来年度日本ジオパーク申請を行う地域については、「JGN事前相談会」への出席が必須となっている。筑波山地域ジオパーク推進協議会の事務局を務めているつくば市は、来年度以降の日本ジオパーク申請に向け、本大会に出席したものである。 ※JGNとは「日本ジオパークネットワーク」の略</p> <p>2 概要</p> <p>(1) 日程</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成25年10月15日（火） JGNプログラム：事前相談会，事務局長会議 メインプログラム：JGN認定式等，基調講演，首長セッション，全体交流会 ・平成25年10月16日（水） メインプログラム：分科会，関連イベント，地元小学生・高校生によるジオパーク発表，分科会・関連イベント報告 ※両日 ポスターセッション，ブース展示 ・平成25年10月17日（木） 現地視察（隠岐島後） <p>(2) 参加者：JGNに加盟する全国32地域と準加盟15地域から約500名 (3) つくば市からの参加者：岡田副市長，小玉協議会理事，協議会事務局2名</p> <p>3 成果・その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事前相談会への参加：来年度申請に向け，協議会および事務局で参加。JGNからの質問に対して，筑波山地域の現状などを説明した。 ・首長セッションへの参加：31地域から首長23人を含む35人が参加。つくば市からは岡田副市長が参加し，3～5人の班に分かれ，現状や手応え，教育や観光への生かし方などを報告しあった。 ・ポスターセッション及びブース展示：協議会理事及び事務局2名で参加し，筑波山地域ジオパークのPRを積極的に行った。

公開	可	否
公開時期	①庁議後の記者会見 2()	

平成25年10月31日

庁議付議事案書

部・室・局・(課)名
環境生活部 放射線対策室

付議区分	報告
付議事項	通学路の空間放射線量率詳細調査について
事案要旨	<p>除染実施区域内の通学路（歩道）における空間放射線量率の状況を把握するために、詳細調査を実施の上、放射線量率マップを作成したので公表する。</p> <p>1 調査期間 平成25年8月9日から10月18日</p> <p>2 測定方法 除染実施区域内の通学路（歩道）総延長：約20kmについて、実際に対策室の職員が歩いて空間放射線量率を測定する「歩行サーベイ」を実施した。 測定の高さは地上50cm、測定地点数は894箇所である。 ※詳細は資料①のとおり</p> <p>3 測定機器 エネルギー補償型シンチレーション式サーベイメータ (日立アロカメディカル社製：TCS-172B)</p> <p>4 測定結果 今回の調査の結果、除染実施区域内の通学路における空間放射線量率は、除染の目安とされる毎時0.23マイクロシーベルトを下回ることが判明した。 調査結果について、資料②のとおりマップを作成した。</p> <p>5 公表 ホームページに掲載</p>